

2025年1月27日

アムンディ「責任投資の状況」 2025年の主要な注目分野

アムンディ・ジャパン株式会社

欧州最大¹の資産運用会社であるアムンディは、2025年1月16日に「責任投資の状況（2025年版）」を発表し、今後のサステナブル・ファイナンスを形作る主要なトレンドとして、責任投資に対するフローの正常化、エネルギー転換に向けた動きと加速、実社会にインパクトをもたらす金融商品の需要の高まり、規制の国際的整理の必要性を挙げました。

この見通しについて、アムンディのチーフ・レスポンシブル・インベストメント・オフィサー、エロディ・ロジェルは次のように述べています。

「今後数年間は、持続可能で包括的な低炭素経済に移行するうえで極めて重要な時期となります。クリーンエネルギー技術への投資は化石燃料関連支出を大幅に上回っており、現在、化石燃料への1ドルに対して、ほぼ2ドルがクリーンエネルギーに投資されています。この勢いは今後も続くと予想されます。クリーンテクノロジーの開発は、今や競争力や主権の問題となっており、エネルギー移行に失敗した場合の多大なコストを回避するためにすべてのステークホルダーが協調して果敢に行動することが求められています。このように状況が進展するなかで、責任投資市場は2024年に落ち着きを取り戻し、規制当局の監視が強化される中で深化したと言えます。2025年を迎え、投資家としてトランジションのなかにある投資機会を捉えるうえでは、実社会にインパクトをもたらす戦略に着目することが大切になるでしょう。」

2025年に注目すべき主な分野

- モメンタムがクリーンエネルギー投資にシフト**：2023年にはクリーンエネルギーが世界に3200億ドルの経済効果をもたらし、投資金額は2：1に迫る比率で化石燃料を上回りました。価格競争力の差が広がり、この比率は今後も拡大を続けると予想されます。
- 地政学的な変化がエネルギー転換に影響を与える**：先進国でのクリーンエネルギー開発に残る障壁を克服し、新興国への投資拡大に道筋をつける必要があることから、クリーンテクノロジーへの投資は政策パッケージを通じて継続的に推進されることが見込まれます。

¹出所：インベストメント・ペンション・ヨーロッパによる資産運用会社トップ500社（2024年6月版、2023年12月末の運用資産額）

3. **物理的リスクが現実のものに：**気候変動の影響はますます深刻化し、企業のバリューチェーンに影響を及ぼすため、対策を怠ることはありえなくなっています。気候変動、生物多様性、健康、食糧、水といった相互に関連する環境および社会的な危機は、多くのビジネスモデルをリスクにさらします。
4. **責任投資への継続的な関心：**政治的な問題となっているにもかかわらず、投資家の54%がポートフォリオにおける責任投資への配分を増やすつもりであると回答しており、ニーズは依然高いものと考えられます。
5. **「アウトカム（成果）志向」のプロダクトへの注目：**実社会への具体的なインパクトをもとめる動きのなかで、2025年には、グリーンボンドやネイチャー・デット・スワップ、種々のインパクト投資などを含めて画期的な金融ソリューションへの需要が高まるものと思われま
6. **サステナビリティ・ツールボックスの拡大：**生物多様性や社会面の諸課題、現実社会の変化に焦点を当てる新たな評価基準によって持続可能性の枠組みが強化され、気候変動ストレステストを含むリスク管理評価の改善につながることが期待されます。
7. **必要な顧客中心のアプローチ：**顧客は一律ではなく、多様なニーズがあること考慮にいれ、金融商品を販売するうえでの実務上の要請をきちんと踏まえることが、投資家が実際に持続可能性に関する考え方を反映させるうえで極めて重要となります。
8. **規制枠組みの整理：**複雑な規制をきちんと整理し対応しやすくすることでサステナビリティ・ファイナンスに対する投資家の理解が高まりハードルが下がります。これが、最終的に責任投資プロダクトへのアクセスを拡大するために不可欠な要素となります。
9. **規制の相違への対応：**各国の規制がばらばらに進む中で、企業や金融機関においては、これらの遵守をする上での負担を下げるために国際的なアラインメントと相互連携に焦点があたり

[アムンディの「責任投資の状況（2025年版）」の全文はこちらからご覧ください。（英語版）](#)

本件に関するお問合せ先

アムンディ・ジャパン株式会社 広報室

e-mail：amundi_Japan_PR@amundi.com

直通： 050-4561-2565

公式ウェブサイト：amundi.co.jp

アムンディについて

アムンディは、欧州を代表する資産運用会社であり、世界トップ 10²にランクインしています。世界で 1 億を超える、個人投資家、機関投資家および事業法人のお客さまに、伝統的資産や実物資産のアクティブおよびパッシブ運用による幅広い種類の資産運用ソリューションを提供し、金融バリューチェーン全体をカバーする IT ツールでサービスの強化を図っています。クレディ・アグリコル・グループ傘下で、ユーロネクスト・パリ市場に上場するアムンディは、現在、約 350 兆円³の資産を運用しています。

世界 6 つの運用拠点⁴、財務・非財務のリサーチ能力および責任投資への長年の取り組みにより、アムンディは資産運用業界の中心的存在です。

アムンディは、35 カ国を超える国と地域で約 5,500 人⁷の従業員の専門知識と助言をお客さまに提供しています。

アムンディ 信頼されるパートナー
日々、お客さまと社会のために



商号等：アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 350 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

日本証券業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

本資料は、アムンディ・アセットマネジメントが一般・参考情報の提供を目的として作成した資料をアムンディ・ジャパン（以下、弊社）が一部翻訳したものです。本資料は、本資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入・売却の勧誘を目的としたものではありません。本資料は法令に基づく開示資料ではありません。本資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。本資料に記載されている内容は、全て本資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。本資料に含まれる情報から生じるいかなる責務（直接的、間接的を問わず）を負うものではありません。弊社の許可なく、本資料を複製または再配布することはできません。

[4181593]

² 出所：インベストメント・ペンション・ヨーロッパによる資産運用会社トップ 500 社（2024 年 6 月版、2023 年 12 月末の運用資産額）に基づく

³ 2024 年 9 月末現在。運用資産額は約 2 兆 1,920 億ユーロ、1 ユーロ=159.43 円で換算

⁴ 主要な運用拠点：ボストン、ダブリン、ロンドン、ミラノ、パリ、東京（アルファベット順）